

対象学年					
幼稚園・保育園	小学校			中学校	一般
年長	低学年	中学年	高学年		

キャンプファイアー



プログラムの概要

野外活動の華は、なんといってもキャンプファイアーです。参加者の全員で活動を盛り上げていかななくてはなりません。

赤々と燃えるたき火をバックに、思い出に残るような活動を考え、実践することが大切です。

儀式→スタンプ（出し物）→儀式の形で行い、児童が、厳粛な中に楽しみを見いだせるように指導しましょう。

所要時間：1～2時間

銀河の里キゴ山

1. 活動のねらい

- ・自然のふところの中で、火を囲みながら、仲間と活動を通して、自然のありがたさを感じると共に、創造性を養い、友情を深める。

2. 活動場所

- ・銀河の里キゴ山の日本海広場、及び、どんぐり広場

3. 準備するもの

- ・トーチ、薪（たきぎ）、CD プレーヤー、アンプ、マイク、衣装、歌詞集（遠き山に日は落ちて、燃えろよ燃えろ、今日の日はさようなら）など

4. 活動の手順

(1) 事前学習（銀河の里に来る前の学習）と準備

- ・（プログラムの準備）シナリオ、スタンプ、係分担を準備し、事前のリハーサルもする。
- ・（井桁の準備）太めの井桁を交互に4～5段積んでおく。
中に芯になる木とたきぎを入れる。
少量の灯油をかけておく。
点火するあたりに古新聞を詰めておく。

（トーチの準備）布部分にあらかじめ灯油をしみこませておく。

(2) 実際の活動

①第1部・・・はじめの儀式：セレモニアルファイヤー

- ・厳かな雰囲気の中で、火がついたトーチを持った火の神が入場する。
- ・火の神は、参加者へ向かって話をした後、一人ずつ誓詞者4人のトーチに分火する。
- ・分火された誓詞者は、大きな声で誓いのことばをのべる。

②第2部・・・交歓のつどい：ボンファイヤー

- ・はじめの部分は、気持ちや身体をほぐすような動作の入ったものや、スキンシップのあるゲームなどがよい。
- ・中程では参加者による出し物を軸にして、歌やゲームを入れて雰囲気を盛り上げる。
- ・全体の3分の2ほど進んだところで、最も盛り上がるようなダンスやゲームをする。
- ・終盤は気持ちを静めていく。

③第3部・・・おわりの儀式：セレモニアルファイヤー

- ・参加者代表や引率者代表が心に残るような話をしたり詞を朗読したりする。
- ・（後始末）バケツで水をかけ、火を確実に消すこと。使った道具は元の場所へ戻す。

5. 活動のまとめ

- ・活動後、自分たちの行ったキャンプファイヤーをふりかえり、改善点や良かった点などを話し合い、今後の活動につなげる。

6. 活動上の留意点

- ・火の扱いは、十分な事前指導をしておく。
- ・ガソリンは絶対に使用しないこと。
- ・リハーサルには十分な時間をかけること。

※係分担については、・司会（1～2人）・・・全体の進行、・音楽係（1～2人）・・・CD操作、・火の神（1人）・誓詞者（4人程度）など **【火の管理は大人が行う】**

(プログラム例)

【第1部】儀式

・井桁を中心に円陣をつくり待機する。

司 会：火の神と女神が入場します。みんなで「遠き山に火はおちて」を唄いながら火の神を迎えましょう。2題目からはハミングをしましょう。

・歌の間に、女神が火のついたトーチを持って前、引き続いて火の神が入場し井桁の周りを1周する。

火の神：わしは〇〇に住む火の神じゃ。こよい〇〇〇〇の楽しいつどいがあると聞き、はるばる山からやってきた。今日はこの火を囲み、皆で楽しもうぞ。

さてここにおける皆は知っておるかな。火は昔から人間の生活には欠かすことのできない大切なものだということを。あるときは食べ物を煮たり焼いたりする熱となり、またある時は暗闇を照らす光ともなる。人間は火とともに栄えてきたのじゃ。しかし、この火も使い方を間違えると、大切な家や財産までも焼き尽くす恐ろしいものになってしまうのじゃ。今宵はこの火を上手に使い、皆の力を合わせて思い出に残る楽しいつどいとなることを祈っておるぞ。わっはっはっはっは……。

司 会：女神が誓詩者に火を分け与えます。

女 神：あなたには友情の火を与えましょう。(女神は誓詩者1のトーチに火をつける)

誓詩者1：私は友情の火をもらいました。友達と、いつまでも仲良くしていくことを誓います。

女 神：あなたには協力の火を与えましょう。(女神は誓詩者2のトーチに火をつける)

誓詩者2：私は協力の火をもらいました。仲間とお互いに協力し助け合うことを誓います。

女 神：あなたには健康の火を与えましょう。(女神は誓詩者3のトーチに火をつける)

誓詩者3：私は健康の火をもらいました。自分を鍛え、強い心と体を作っていくことを誓います。

女 神：あなたには環境の火を与えましょう。(女神は誓詩者4のトーチに火をつける)

誓詩者4：私は環境の火をもらいました。自然を愛し、いつまでも美しい地球を守ることを誓います。

司 会：誓詩者は火を点火して下さい。(誓詩者は火を四方から取り囲み、一斉に点火する。)

司 会：みんなで「燃えろよ 燃えろ」を歌いましょう。

【第2部】スタンツ(出し物)

司 会：燃えさかる炎を囲んで楽しい出し物を楽しみましょう。

スタンツ 30～60分程度

※火に近づきすぎないように指導しておく。

火の管理は大人が行う。

【第3部】儀式

司 会：楽しかったキャンプファイヤーも終わりに近づいています。火の神のメッセージを聞きましょう。

火の神：今宵のうたげはどうじゃったかな。明るく照らした炎は私たちに心の光を与えてくれた。

そして暖かく燃えた炎は私たちのところに愛を与えてくれたのじゃ。喜びを友と分かち合えば、その喜びは倍になり、悲しみを友と分かち合えば、その悲しみは半分になることだろう。これからも友を大事にするんだぞ。今宵は本当に楽しませてもらった。〇〇〇〇のみなさんに心から礼を言うぞ。ありがとう。それではみなさん、お元気で。さらばじゃ。

司 会：みんなで「一日の終わり」を歌いましょう。

・歌の間に火の神、女神は退場する。

司 会：これでキャンプファイヤーを終わります。

燃えろよ燃えろよ

燃えろよ燃えろよ 炎よ燃えろ
火の粉を巻きあげ 天までこがせ
照らせよ照らせよ 真昼のごとき
炎よ うずまき 闇夜を照らせ
燃えろよ燃えろよ 明るくあつく
光と熱との 源なる炎

遠き山に日は落ちて

遠き山に日は落ちて 星は空を 散りばめぬ
今日のわざを なし終えて 心軽(か)く 安らえば
風は涼し この夕べ いざや楽しき まどいせん
闇に燃えし かがり火は 焰(ホノ)今は 静まりて
眠れ安く 憩えよと 誘うごとく 消え行けば
深き森に包まれて いざや楽しき 夢を見ん

星かげさやかに

星かげさやかに 静かにふけぬ
集いの喜び 歌うはうれし
名ごりはつきねど まどいは果てぬ
今日のひと日の幸 静かに思う
星かげさやかに 静かにふけぬ
集いの喜び 歌うはうれし